

地域ジュニア ふれあい体験



「福祉のまち」に出かけてみませんか！

平成21年9月から、職員が県内の小・中・高・地域等に直接出向いて「地域ジュニアふれあい体験」を実施しています。

これらの体験を通して、学校や家庭・地域の中で困っている人を見かけた時に「自分には何ができるかな」と考えることができる人が増え、地域に思いやりの輪が広がるなど、助け合いながら心豊かに暮らしていける地域づくりが促進されることを願っています。



【車いす体験】 車いすを使う事でどのような事ができるのか、どのような不便さがあるのかを体験。

足が不自由な人にとって車いすは体や心の一部なんだということをととても感じることができました。

この体験をもとに体の不自由な人、ひざや腰の痛みとたたかいながら生活している高齢者のかたにやさしく接しようと思います。
(中3 Y子)

【高齢者疑似体験】 高齢（75歳～80歳位）になった時の身体的機能の低下や心理的变化を体感することで相手の気持ちを考える姿勢を学ぶ。

言葉だけで説明するのではなく体で体験することによって、子どもたちが納得して心にとめることができた貴重な体験だった。
(教職員 B先生)



【ユニバーサルデザイン体験】 生活に便利な道具や障害のある方の自立を助ける道具を身近に感じてもらう体験

現在、在宅介護をしているが、いろいろな体験が出来たことで、気持ちがとても楽になりました。

もっと時間があればいろいろな事が、わかり母に優しい気持ちになれるような気がしました。ありがとうございました。(保護者 A様)



平成22年度
体験実績

区分	学校数(校)	参加人員(人)
小学校	41	2,027
中学校	8	1,158
高等学校	5	674
その他(一般)	13	464
計	67	4,323

(平成22年4月～12月末現在)

地域の行事の一環として行ったり子ども会・親子会や地域の高齢者の皆さんの参加も歓迎です。

旅費及び謝金などの費用負担はありません。

お問い合わせ先

鹿児島県介護実習・普及センター

(運営：鹿児島県社会福祉協議会)

TEL 099-221-6615 FAX 099-239-0384

〒892-0816 鹿児島市山下町14番50号(かごしま県民交流センター内) E-mail kaigo2@kagoshima-pac.jp